

2017年2月23日

草の根・人間の安全保障無償資金協力（セントルシア）
ラボリー・オギエル地区排水溝建設計画プロジェクト供与式

2月23日、セントルシア南部のラボリーにて、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ラボリー・オギエル地区排水溝建設計画」の供与式が行われました。被供与団体であるラボリー開発財団は、日本政府からの供与額 88,327 米ドルの無償資金を利用し、同地区の防災能力を高め洪水による被害を緩和するため、町の中心部に排水溝を建設しました。

本式典は、在セントルシア日本国大使館（在トリニダード・トバゴ日本国大使館が兼轄）の岡田光彦大使及びアルバ・バプティスト議員（元外務大臣）をはじめ、サイモン・ダニエル建設・港湾・エネルギー省次官補、ロレンシア・パーサドララボリー・オギエル地区代表、ラボリー開発財団のオーガスティン・ドミニク代表並びにコミュニティーの関係者の出席の下、行われました。

ダニエル次官補は、挨拶の中で「周辺の住民から大雨の際に地表面を流れる水や洪水を恐れることがなくなった事を聞いている」と述べ、コミュニティー主導のプロジェクトが人々の生活の向上に繋がった一例として、本件を評価しました。また、バプティスト議員は、日本のセントルシアへの長年の協力を感謝を伝えるとともに、地元の団体が日本と協力し、良い影響をもたらしたことを称えました。岡田大使は、気候変動に適応するためのコミュニティーの取り組みを歓迎するとともに、セントルシアが気候変動への脆弱性を克服するための戦略を策定するにあたって今後も協力していく方針を伝えました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントルシアに対する開発支援を実施していきたいと考えています。

(了)



お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 219
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp